

金属反応式スピードセンサー取扱説明書

商品番号 コード長1750mm : 05-06-0005 コード長1000mm : 05-06-0009

対応メーター
・スクエアスピード＆タコメーター・・スクエアパワーテストメーター
・スーパーマルチDNメーター

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。

ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さい様お願い申し上げます。

取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。

①イラスト、写真などの記載内容が本パートと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

○取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

○本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。○この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても、当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

○他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

○商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

○性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

○クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となります。

○この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さい様お願い致します。



この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

○作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）

○作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）

○製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）



この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

○技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。

（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。

（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

○点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。

（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）

○エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

○走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）

○走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。

（事故につながる恐れがあります。）

○点検、整備は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

○指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）

○規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。

（ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。）

○気化したガソリンの滞留は危険性が有る為、通気の良い場所で作業を行って下さい。（爆発につながる恐れがあります。）



取り付けを誤ると、ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。

本製品はメーター付属のJIS規格スピードメーターケーブルが使用できない状況のカスタムバイク用にご用意したオプション速度センサーです。
車種別ボルトオン設計品ではありませんので、取り付けにはステー類の加工やバイク側の加工、工夫が必要になります。

本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。以上の事を予めご理解うえ使用して下さい。

① 特徴

マグネットの要らない金属（スチール）反応式を採用し、取り付け場所の自由度高い速度センサーです。

- ・磁力に反応する金属の接近に連動しメーターに信号を送ります。（センサー内部にある磁石と吸い付くように極性を合わせる事で、マグネットに反応させる事も可能です。）
- ・反応時のセンサー部のブルーLEDが消灯するので、作動確認も容易です。
- ・反応距離範囲がとても短い為、位置を微調整する事でブレーキディスクボルトなどの僅かな凹凸から速度を検知出来ます。

② キット内容

金属反応式速度センサー



コード長
05-06-0005 : 1750mm
05-06-0009 : 1000mm

M8

速度センサーブラケット



M10

速度センサーブラケット

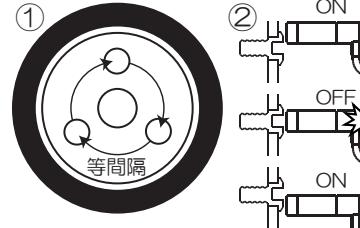


6角穴付き止めネジ

2個



③ 取り付け



●バイクに合わせて取り付けにブラケットの加工や自作を行い、センサーを車体にセットして下さい。

- ・付属の止めネジは、M8、M10速度センサーブラケットに差し込み、速度センサー固定に使います。センサーの金属部の範囲で止めネジを使って下さい。
- ・フロントホイール側、リアホイール側どちらでも良いので、適切な場所を良く検討して下さい。

※付属のM8、M10速度センサーブラケットを、他部品の固定のボルトと共に締めする場合はお客様でブラケットの厚み分、5mm長いボルトを用意して下さい。

※可動部ではコードに十分たるみを持たせ、両サイドをタイラップ等でしっかりと固定し、可動部の動きでコードの付け根（センサー側、コネクター側）に負荷がかからない様にして下さい。



アクスルシャフトとの共締めは、締め付けトルクに対するブラケットの強度不足が考えられますので、推奨致しません。

① 信号間隔は必ず等間隔になるようにして下さい。変則間隔では正確な速度を表示出来ません。

② 6角穴付きボルトで信号を拾う場合、ボルトの中心とセンサー中心がずれるようにセットして下さい。中心を合わせますと図のように6角穴のところで一度信号がOFFになり、信号が等間隔にならないので注意して下さい。

“アドバイス”

もし、丁度良い所にセンサー反応部が無い場合は、ワッシャの様な小さな鉄の破片をエポキシボンド等で貼り付けて反応部を作成して下さい。

LEDの点灯で、セット位置を微調整して下さい。

次ページに続く[④ メーター側の設定変更]

④ メーター側の設定変更

タイヤの外周と、ホイール1回転あたりの信号数を設定して下さい。信号数設定変更の方法は各メーター本体の説明書に記載しています。

“アドバイス” タイヤ外周は、タイヤ直径から求める方法（タイヤ直径×3,14=タイヤ外周）よりも、タイヤと地面に印を付けて実際にバイクを進めて、その距離を測った方がより実際の速度に近くなります。また、高速走行中にタイヤ外周は若干大きくなりますので、+2~3%程度多めにしても良いでしょう。

メーター側の設定範囲

●スクエアLCDスピード＆タコメーター

- ・ホイール外周：300~2500mm
- ・信号数：1~60信号

●スクエアLCDパワーテストメーター

- ・ホイール外周：300~2500mm
- ・信号数：1~60信号

●スーパーマルチDNメーター SP1

- ・ホイール外周：300~2500mm
- ・信号数：1~6信号

●スーパーマルチDNメーター SP2

- ・ホイール外周：300~2500mm
- ・信号数：1~60信号

●スマートDNスピードメーター

- ・ホイール外周：300~2500mm
- ・信号数：1~60信号

“アドバイス”

ホイール1回転あたりの信号数が設定範囲以上になってしまった場合でも、信号数に合わせて外周長を換算する事で設定出来ます。

※換算範囲に限界はあります。

例えばタイヤ外周長が1000mmのバイクで取り付け箇所の都合上8信号になってしまい、これを6信号置き換えます。

$1000\text{mm} \div 8\text{信号} \times 6\text{信号} = 750\text{mm}$ (換算値) メーターの設定は750mmで6信号となります。